

[平成25年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

東洋大学 食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻
 東洋大学 食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻
 東洋大学 食環境科学部 健康栄養学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東洋大学
 平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 板倉事務課

職名・氏名 ^{カチョウ}課長 ^{ヨシダ}吉田 ^{クニコ}邦子

電話番号 0276-82-9110

（夜間） 0276-82-9111

F A X 0276-82-9801

e-mail yoshida_k@toyo.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

【 目 次 】

1. 調査対象大学等の概要等		1 ～ 5
2. 授業科目の概要		6 ～ 2 1
3. 施設・設備の整備状況, 経費		2 2
4. 既設大学等の状況		2 3 ～ 2 8
5. 教員組織の状況		2 9 ～ 4 9
6. 留意事項に対する履行状況等		5 0
7. その他全般的事項		5 1 ～ 5 3

別紙 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人東洋大学

(2) 大 学 名

東洋大学

(3) 大学の位置

(〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20)
〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フクカワ シンジ) 福 川 伸 次 (平成24年12月)		
学 長	(タケムラ マキオ) 竹 村 牧 男 (平成21年9月)		
学 部 長	(ハヤシ キヨシ) 林 清 (平成25年4月)		
学科長 (食環境科学科)	(フクモリ フミヤス) 福 森 文 康 (平成25年4月)		
学科長 (健康栄養学科)	(ツジ ヒロミ) 辻 ひろみ (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 2 4 年度に報告済の内容 → (24)

平成 2 6 年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 学士(食環境科学)	4年	70人	0人 年次人	280人	
食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻 学士(食環境科学)	4年	50人	0人 年次人	200人	
食環境科学部 健康栄養学科 学士(健康栄養学)	4年	100人	0人 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	70人 (-) [-]	人 () []	70人 (-) [-]	人 () []	1.18倍	食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻
志願者数	() []	() []	() []	() []	819 (-) [-]	() []	525 (-) [-]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	795 (-) [-]	() []	508 (-) [-]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	221 (-) [-]	() []	209 (-) [-]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	83 (-) [-]	() []	83 (-) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A					1.18		1.18			

対象年度 区 分	平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 () []		人 人 () []		50人 人 (－) [－]		50人 人 (－) [－]		1.17倍	食環境科学部 食環境科学科 ｽﾎｰﾙ・食品機 能専攻
志願者数	() []	() []	() []	() []	320 (－) [－]	() []	393 (－) [－]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	303 (－) [－]	() []	381 (－) [－]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	150 (－) [－]	() []	157 (－) [－]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	58 (－) [－]	() []	59 (－) [－]	() []		
入学定員超過率 B／A					1.16		1.18			
A 入学定員	人 人 () []		人 人 () []		100人 人 (－) [－]		100人 人 (－) [－]		1.00倍	食環境科学部 健康栄養学科
志願者数	() []	() []	() []	() []	825 (－) [－]	() []	673 (－) [－]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	794 (－) [－]	() []	634 (－) [－]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	206 (－) [－]	() []	188 (－) [－]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	100 (－) [－]	() []	100 (－) [－]	() []		
入学定員超過率 B／A					1.00		1.00			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[]	[]	[]	[]	[-]	[]	[-]	[]	食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻
2 年次			[]	[]	[]	[]	[-]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計							[-]	[]	
	[]		[]		83		83		
1 年次	[]	[]	[]	[]	[-]	[]	[-]	[]	食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス・食品機能専攻
2 年次			[]	[]	[]	[]	[-]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計							[-]	[]	
	[]		[]		58		59		
1 年次	[]	[]	[]	[]	[-]	[]	[-]	[]	食環境科学部 健康栄養学科
2 年次			[]	[]	[]	[]	[-]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計							[-]	[]	
	[]		[]		100		100		
1 年次	[]	[]	[]	[]	[-]	[]	[-]	[]	食環境科学部 健康栄養学科
2 年次			[]	[]	[]	[]	[-]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計							[-]	[]	
	[]		[]		100		199		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

学科等	区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数の 割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
食環境科学部 食環境科学科 フー・サイエンス専攻	平成23年度 入学者	人	0 人	平成23年度	人	人		%
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
				平成26年度	人	人		
	平成24年度 入学者	人	0 人	平成24年度	人	人		%
				平成25年度	人	人		
				平成26年度	人	人		
	平成25年度 入学者	83 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	0.0 %
				平成26年度	0 人	0 人		
	平成26年度 入学者	83 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
	合 計	166 人	1 人					0.0 %
食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻	平成23年度 入学者	人	0 人	平成23年度	人	人		%
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
				平成26年度	人	人		
	平成24年度 入学者	人	0 人	平成24年度	人	人		%
				平成25年度	人	人		
				平成26年度	人	人		
	平成25年度 入学者	58 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	0.0 %
				平成26年度	0 人	0 人		
	平成26年度 入学者	59 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
	合 計	117 人	1 人					0.0 %
食環境科学部 健康栄養学科	平成23年度 入学者	人	0 人	平成23年度	人	人		%
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
				平成26年度	人	人		
	平成24年度 入学者	人	0 人	平成24年度	人	人		%
				平成25年度	人	人		
				平成26年度	人	人		
	平成25年度 入学者	100 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	0.0 %
				平成26年度	0 人	0 人		
	平成26年度 入学者	100 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
	合 計	200 人	1 人					0.0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻＞

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 盤 教 育 科 目	哲 学 ・ 思 想	井上門了と東洋大学	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (25)
		生命論	1・2・3・4 後		2		1					兼 1	
		生命倫理	1・2・3・4 前後		2							兼 1	
		生命哲学	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		哲学入門	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		スポーツ哲学	1・2・3・4 前		2							兼 1	
	自 然 ・ 環 境 ・ 生 命	現代生物学	1・2・3・4 後		2							兼 1	新規専任教員を採用したため 担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教) 少人数教育実施のため専任教員採用 (25) 担当：大上安奈 (助教) 時間割再編成に伴い、担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教)
		現代化学	1・2・3・4 前		2		1					兼 1	
		現代物理	1・2・3・4 前		2		1					兼 1	
		科学技術論	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		情報処理基礎	1・2・3・4 前		2		1					兼 1	
		情報処理演習	1・2・3・4 後		2		1					兼 1	
		生命科学史	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅰ	1 前		1					1		兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅱ	1 後		1					1		兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅲ	1 後		1							兼 1	
	数学の世界	1・2・3・4 前		2							兼 1		
	日 本 と 世 界 の 文 化	異文化コミュニケーション	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		文化人類学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		欧米の文学と文化	1・2・3・4 前		2							兼 1	
	現 代 ・ 社 会	経済学入門	1・2・3・4 前・後		2		1						教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更 (25)
		人文地理学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		政治学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		日本国憲法	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		社会学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		法学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		心理学	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		異文化と社会事情	休講 1・2・3・4 前		2							兼 1	
		ソーシャルサーベイ概論	休講 1・2・3・4 前		2							兼 1	
		産官学連携概論	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		スポーツ社会学	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		ス ポ ー ツ と 健 康	スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4 前		2		1		1			
	スポーツと健康Ⅱ		1・2・3・4 後		2			1				兼 1	
	スポーツの理論と実際ⅠA (テニス)		1・2・3・4 前・後		1							兼 1	
	スポーツの理論と実際ⅠB (バレーボール)		1・2・3・4 後		1							兼 1	
	スポーツの理論と実際ⅡA (サッカー)		休講 1・2・3・4 前		1							兼 1	
	スポーツの理論と実際ⅡB (バドミントン)		1・2・3・4 後		1			1				兼 1	
	スポーツの理論と実際Ⅲ (陸上)		休講 1・2・3・4 前		1							兼 1	
	スポーツの理論と実際Ⅳ (水泳)		1・2・3・4 後		1							兼 1	
	スポーツの理論と実際Ⅴ (武道)		1・2・3・4 前		1		1					兼 1	
	スポーツの理論と実際Ⅵ (器械運動)		1・2・3・4 後		1							兼 1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	必 修	基礎化学	1	前	2	1					兼 1	実験運営上の理由により、兼任講師を追加 (26)
		化学実験	1	前	2	2						
		基礎微生物学	1	後	2		1					
		生物学	1	後	2	1						
		フードサイエンスの化学	1	後	2	2	1					
		生物学実験	2	前	3	2						
		基礎生化学	2	前	2	1						
		有機化学Ⅱ	2	前	2	2	1					
		基礎細胞生物学	2	前	2	2	1					
		フードサイエンス実験Ⅰ	2	後	3	3 2 +	1					
		基礎栄養学	2	後	2	1						
		植物バイオテクノロジー概論	2	後	2	2	1					
		分子生物学概論	2	後	2	2	1					
		生命科学英語Ⅰ	2	後	2	5	2					
		フードサイエンス実験Ⅱ	3	前	3	1	1					
		食品衛生学	3	前	2		1					
		食品微生物利用学	3	前	2		1					
		食品技術者と倫理	3	後	2	1						
		生命科学英語Ⅱ	3	前	2	4	2					
		食環境科学輪講Ⅰ	4	前	2	9	4					
		卒業研究	4	前	2	9	4					
		卒業論文	4	後	2	9	4					
専 門 科 目	選 択 必 修	基礎生物学	1	前	2	1					兼 1	専攻における重要性を考慮し 選択必修から必修に区分変更 (25)
		物理Ⅰ	1	前	2	1						
		生物統計学	1	後	2		1					
		フードサイエンスの化学	+	後	2	+						
		機器分析	2	前	2		1					
		食品分析学概論	2	前	2	1						
		フーズスペシャリスト特別講義	2	前	2		+		1			
		有機化学Ⅱ	2	前	2		+					
		食品有機化学										
		基礎地学Ⅱ	2	前	2	1						
		基礎植物生理学	2	前	2							
		食品流通経済論	2	前	2	1						
		公衆衛生学	2	前	2							
		学植物バイオテクノロジー概論	2	後	2	+						
		食品科学特別講義	2	後	2	1						
		分子生物学概論	2	後	2	+						
		食品バイオテクノロジー	3	前	2	1						
		食品官能評価概論	3	前	2	1						
		生物資源利用学	3	前	2	1						
		応用栄養学	3	前	2		1					
		食品微生物制御学	3	後	2		1					
		食品添加物概論	3	後	2	1						
		応用酵素学	3	後	2	1						
		実務研修	3	後	2	1						
		生体高分子化学	3	後	2	1						
		知的財産所有権法	3	後	2							
		食品加工貯蔵学	3	後	2		1					
		食環境科学輪講Ⅱ	4	後	2	9	4					

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	選 択 科 目	人体の構造と機能	1 前	2					1			兼 1	より科目に適合した専任教員 へ担当者変更 (26)
		地学Ⅰ	1 後	2		1							専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		物理Ⅱ	1 後	2		1							専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		物理実験	1 後	2		1	1						専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		無機化学	1 後	2								兼 1	専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		有機化学Ⅰ 有機化学	1 後	2								兼 1	履修内容に即した科目名称に 変更し、専攻における重要度 から選択より選択必修へ科目 区分変更 (25)
		環境修復学	1 後	2								兼 1	専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		食育論	1 前	2				1					
		フードコーディネート論	1 後	2								兼 1	
		食品学概論	2 前	2			1						
		基礎細胞生物学	2 前	2		1							専攻における重要性を考慮し 選択必修から必修に区分変更 (26)
		調理科学実習	2 前	2				1				兼 1	
		フードエンジニアリング	2 前	2		1							
		食品物性論	2 前	2		1							
		食品品質管理学	2 前	2		1							
		動物生理学	2 後	2								兼 1	専攻における重要性を 考慮し選択から選択必 修へ科目区分変更 (26)
		物理化学	2 後	2								兼 1	
		微生物生理学	2 後	2								兼 1	
		地学概論（実験を含む）	2 後	2								兼 1	※実験 専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)
		生物有機化学	2 後	2								兼 1	専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)
		調理と美味しさの科学	2 後	2				1					
		食品化学	2 後	2				1					
		機能食品科学	3 前	2				1					
		食品安全学	3 前	2				1					
		プロバイオティクス	3 前	2			1						
		食品検査概論	3 前	2			1						
		ファイトセラピー論	3 前	2			1						
		HACCP論	3 後	2				1					
		予防・臨床栄養学	3 後	2			1						
専 門 科 目	選 択 科 目	スポーツと生理学	1 前	2		1						兼 1	専任教員の就任辞退による 担当者変更 (25)
		エコシステム学	1 前	2								兼 1	
		微分積分学	1 前	2								兼 1	
		地学Ⅰ	1 後	2		1							専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		物理Ⅱ	1 後	2		1							専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		物理実験	1 後	2		1	1						専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		無機化学	1 後	2								兼 1	専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		有機化学Ⅰ 有機化学	1 後	2								兼 1	履修内容に即した科目名称に 変更し、専攻における重要度 から選択より選択必修へ科目 区分変更 (25)
		スポーツと栄養学	1 後	2								兼 1	
		解析学	1 後	2								兼 1	
		環境修復学	1 後	2								兼 1	専攻における重要度から選択 必修へ科目区分変更 (25)
		地学Ⅱ	2 前	2		1							専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)
		味とニオイの科学	2 前	2								兼 1	
		ゲノム科学	2 前	2								兼 1	
		微生物利用学	2 前	2								兼 1	
		植物生理学	2 前	2								兼 1	専攻における重要性を 考慮し選択から選択必 修へ科目区分変更 (26)
		動物生理学	2 後	2								兼 1	
		物理化学	2 後	2								兼 1	
		微生物生理学	2 後	2								兼 1	
		地学概論（実験を含む）	2 後	2								兼 1	※実験 専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)
		地域産業論	2 後	2		1							
		生物有機化学	2 後	2								兼 1	専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	植物育種学	3 前		2							兼 1	
	遺伝子工学	3 前		2							兼 1	
	スパイスの科学	3 前		2							兼 1	
	マーケティング入門	3 前		2		1						
	香粧品化学	3 前		2							兼 1	
	微生物生態学	3 前		2							兼 1	
	スポーツと医学	3 前		2							兼 1	
	ソムリエ講座	3 前		2							兼 1	
	感染症学	3 後		2							兼 1	
	環境分析化学	3 後		2							兼 1	
目 択	バイオマス	3 後		2							兼 1	
	タンパク質工学	3 後		2							兼 1	
	バイオエネルギー	3 後		2							兼 1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	154	0	175	26 22	149 153	0	175	科目区分を変更したため(26)
				[5 1]	[Δ5 Δ1]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I（前年度秋学期開講）より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もないため未開講。代替なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0. 0 0
---	---	--------

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻>

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基 盤 教 育 科 目	哲 学 ・ 思 想	井上円了と東洋大学	1・2・3・4	前	2							兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (25)	
		生命論	1・2・3・4	後	2		1					兼 1		
		生命倫理	1・2・3・4	前	2							兼 1		
		生命哲学	1・2・3・4	後	2							兼 1		
		哲学入門	1・2・3・4	前	2							兼 1		
		スポーツ哲学	1・2・3・4	前	2							兼 1		
		自 然 ・ 環 境 ・ 生 命	現代生物学	1・2・3・4	後	2							兼 1	新規専任教員を採用したため担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教) 少人数教育実施のため専任教員採用 (25) 担当：大上安奈 (助教) 時間割再編成に伴い、担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教)
			現代化学	1・2・3・4	前	2		1					兼 1	
			現代物理	1・2・3・4	前	2		1					兼 1	
			科学技術論	1・2・3・4	後	2							兼 1	
			情報処理基礎	1・2・3・4	前	2		1					兼 1	
			情報処理演習	1・2・3・4	後	2		1					兼 1	
			生命科学史	1・2・3・4	後	2							兼 1	
			ライフサイエンス基礎Ⅰ	1	前	1					1		兼 1	
			ライフサイエンス基礎Ⅱ	1	後	1					1		兼 1	
	ライフサイエンス基礎Ⅲ		1	後	1							兼 1		
	数学の世界	1・2・3・4	前	2							兼 1			
	日 本 と 世 界 の 歴 史	異文化コミュニケーション	1・2・3・4	前	2							兼 1		
		文化人類学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1		
		中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4	前	2							兼 1		
		欧米の文学と文化	1・2・3・4	前	2							兼 1		
	現 代 ・ 社 会	経済学入門	1・2・3・4	前・後	2		1						教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更 (25)	
		人文地理学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1	兼任講師委嘱辞退により休講 (26)	
		政治学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1		
		日本国憲法	1・2・3・4	前	2							兼 1		
		社会学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1		
		法学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1		
		心理学	1・2・3・4	前	2							兼 1		
		異文化と社会事情	休講 1・2・3・4	前	2							兼 1		
		ソーシャルサーベイ概論	休講 1・2・3・4	前	2							兼 1		
		産官学連携概論	1・2・3・4	後	2							兼 1		
		スポーツ社会学	1・2・3・4	前	2							兼 1		
		ス ポ ー ツ と 健 康	スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4	前	2		1						兼 1
	スポーツと健康Ⅱ		1・2・3・4	後	2			1				兼 1		授業運営上の調整による担当者変更 (25) 時間割再編成に伴う担当者追加 (26)
	スポーツの理論と実際Ⅰ A (テニス)		1・2・3・4	前・後	1							兼 1	履修者増の対応のため、学期を前・後学期に変更 (25)	
	スポーツの理論と実際Ⅰ B (バレーボール)		1・2・3・4	後	1							兼 1		
	スポーツの理論と実際Ⅱ A (サッカー)		休講 1・2・3・4	前	1							兼 1	兼任講師委嘱辞退により休講 (26)	
	スポーツの理論と実際Ⅱ B (バスケットボール)		1・2・3・4	後	1		1					兼 1		
	スポーツの理論と実際Ⅲ (陸上)		休講 1・2・3・4	前	1							兼 1	兼任講師委嘱辞退により休講 (26)	
	スポーツの理論と実際Ⅳ (水泳)		1・2・3・4	後	1							兼 1		
	スポーツの理論と実際Ⅴ (武道)		1・2・3・4	前	1		1					兼 1	集中 専任教員の就任辞退による担当者および開講形態の変更 (25)	
	スポーツの理論と実際Ⅵ (器械運動)		1・2・3・4	後	1							兼 1		
	総 合	総合Ⅰ	1・2・3・4	前	2							兼 2	集中 開講コース増に伴う担当者追加 (25)	
		総合Ⅱ	1・2・3・4	後	2							兼 1		
		レポート記述法	1・2・3・4	後	2		1					兼 1	集中 教育効果を考慮し、単独教員による授業に変更 (25)	

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 盤 教 育 科 目	共通 教 養 科 目	文化 間 コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン	英語Ⅰ	1	前	1						兼1	英語教育の充実のため専任教員を採用(26) 担当：カマ マスリ ラジコ パラン (助教)
			英語Ⅱ	1	後	1						兼1	
			英語コミュニケーションⅠ	1	前	1						兼2+	
			英語コミュニケーションⅡ	1	後	1						兼2+	
			TOEIC演習	2	前・後	1						兼1	
			英語スピーチ&プレゼンテーション	2	前・後	1						兼2+	
			イングリッシュ・プラクティス	2	前・後	1				1		兼+	
			英語上級Ⅰ	2	前	1						兼2+	
			英語上級Ⅱ	2	後	1						兼1	
			中国語Ⅰ	1・2・3・4	前	1						兼1	
			中国語Ⅱ	1・2・3・4	後	1						兼1	
			ハングルⅠ	1・2・3・4	前	1						兼1	
			ハングルⅡ	1・2・3・4	後	1						兼1	
			フランス語Ⅰ	1・2・3・4	前	1						兼1	
			フランス語Ⅱ	1・2・3・4	後	1						兼1	
			スペイン語Ⅰ	1・2・3・4	前	1						兼1	
			スペイン語Ⅱ	1・2・3・4	後	1						兼1	
			Extensive Reading in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前→後	1						兼1	
			Field Trips in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前→後	1						兼1	
	社会 人 基 礎 科 目		キャリアデザインⅠ	1	前	2		1					新規専任教員を採用したため担当者変更(26) 担当：吉崎 貴大(助教)
			キャリアデザインⅡ	2	前	2		+		1			
	留 学 支 援 科 目	英語 特 別 教 育 科 目	Special Course in Advanced TOEFL Ⅰ	1・2・3・4	後	2						兼1	学習段階を考慮しH25年度は未開講(25) 年次進行により開講(26)
			Special Course in Advanced TOEFL Ⅱ	1・2・3・4 未開講 1・2・3・4	前	2						兼1	
		日 本 語 科 目	Integrated Japanese Ⅰ	未開講 1・2・3・4	前	5						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Integrated Japanese Ⅱ	未開講 1・2・3・4	後	5						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Japanese Reading and CompositionⅠ	未開講 1・2・3・4	前	2						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Japanese Reading and CompositionⅡ	未開講 1・2・3・4	後	2						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Kanji Literacy Ⅰ	未開講 1・2・3・4	前	1						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Kanji Literacy Ⅱ	未開講 1・2・3・4	後	1						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Project Work Ⅰ	未開講 1・2・3・4	前	1						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Project Work Ⅱ	未開講 1・2・3・4	後	1						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Japanese Listening ComprehensionⅠ	未開講 1・2・3・4	前	1						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Japanese Listening ComprehensionⅡ	未開講 1・2・3・4	後	1						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Japanese Culture Ⅰ	未開講 1・2・3・4	前	1						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
			Japanese Culture Ⅱ	未開講 1・2・3・4	後	1						兼1	聴講対象者なしのため未開講(25)(26)
専 門 科 目	必 修		基礎化学Ⅰ	1	前	2		1					履修内容に即した科目名称に変更(25) 誤記入による単位数変更(25) 実験運営上の理由により、兼任講師を追加(26) 新規専任教員を採用したため担当者変更(26) 平成25年度履修状況時記載漏れ 専攻における重要度から選択より必修へ科目区分変更(25) 専攻における重要性を考慮し選択から必修に区分変更(26) 身分昇格のため(25) 担当：佐藤順(教授) 実験運営上の理由により、担当教員を追加(26) 専任教員の就任辞退による後任補充(26) 担当：大土 安奈(講師)
			基礎化学	1	前	2		2				兼1	
			化学実験	1	前	2		2					
			基礎微生物学	1	後	2		1	1				
			生物学	1	後	2		1					
			人体の構造と機能Ⅰ	1	前	2			1			兼+	
			人体の構造と機能Ⅱ	1	後	2			1			兼+	
			物理実験	1	後	2	2	1	1				
			基礎生化学	2	前	2		1					
			生物学実験	2	前	3	2	2					
			フードサイエンス実験Ⅰ	2	後	3		3 2 +	+				
			基礎栄養学	2	後	2		1					
			生命科学英語Ⅰ	2	後	2		5	2				
			公衆衛生学	2	前	2							
			運動生理学Ⅰ	2	前	2		+		1			
			運動生理学Ⅱ	2	後	2		+		1			
			生理生化学Ⅰ	3	前	2		+		1			
			生理生化学Ⅱ	3	後	2		+		1			
			食品衛生学	3	前	2			1				
			食品技術者と倫理	4	後	2		1					
			応用栄養学	4	前	2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	選 択 必 修	物理Ⅰ	1	前	2	1					兼 1	専攻における重要度から選択必修へ 科目区分変更 (25)
		物理Ⅱ	1	後	2	1						
		運動学	1	前	2	+						
		精神保健Ⅰ	1	前	2		1				兼 1	専任教員の就任辞退による担当者変 更 (25)
		基礎生物学	1	前	2	1						
		精神保健Ⅱ	1	後	2		1					
		基礎化学Ⅱ	1	後	2	1					兼 1	履修内容に即した科目名称に変更 (25)
		フードサイエンスの化学	1	後	2							
		地学Ⅰ	1	後	2	1						
		無機化学	1	後	2						兼 1	専攻における重要度から選択より選 択必修へ科目区分変更 (25)
		有機化学Ⅰ	1	後	2							
		有機化学	1	後	2							
		生物統計学	1	後	2		1				兼 1	履修内容に即した科目名称に変更 し、専攻における重要度から選択よ り選択必修へ科目区分変更 (25)
		フーズスペシャリスト特別講義	2	前	2	+			1			
		食品流通経済論	2	前	2	1						
		地学Ⅱ	2	前	2	1					兼 1	専攻における重要性を考慮し選択か ら選択必修へ科目区分変更 (26)
		食品分析学概論	2	前	2	1						
		有機化学Ⅱ	2	前	2		1					
		食品有機化学	2	前	2						兼 1	履修内容に即した科目名称に変更 (25)
		植物バイオテクノロジー概論	2	後	2	1						
		食品科学特別講義	2	後	2	1						
		生物有機化学	2	後	2						兼 1	専攻における重要性を 考慮し選択から選択必 修へ科目区分変更 (26)
		分子生物学概論	2	後	2	1						
		食品バイオテクノロジー	3	前	2	1						
		食品官能評価概論	3	前	2	1					兼 1	専攻における重要度から選択必修へ 科目区分変更 (25)
		実務研修	3	後	2	1						
		食品加工貯蔵学	3	後	2		1					
		食品微生物制御学	3	後	2		1				兼 1	履修内容に即した科目名称に変更 (25)
		食環境科学輪講Ⅰ	4	前	2	9	4					
		食環境科学輪講Ⅱ	4	後	2	9	4					
		食育論	1	前	2	1					兼 1	専任教員の就任辞退による担当者変 更 (25)
		スポーツと生理学	1	前	2	+						
		フーズコーディネイト論	1	後	2							
		スポーツと栄養学	1	後	2						兼 1	専攻における重要性を考慮し選択か ら選択必修へ科目区分変更 (26)
		食品学概論	2	前	2	1						
		植物生理学	2	前	2							
		食品品質管理学	2	前	2	1					兼 1	履修内容に即した科目名称に変更 (25)
		基礎細胞生物学	2	前	2	1						
		小児保健	2	後	2		1					
		有機化学Ⅲ	2	後	2		1				兼 1	専攻における重要度から選択必修へ 科目区分変更 (26)
		食品化学	2	後	2							
		地学概論 (実験を含む)	2	後	2							
		動物生理学	2	後	2						兼 1	専攻における重要性を 考慮し選択から選択必 修へ科目区分変更 (26)
		微生物生理学	2	後	2							
		物理化学	2	後	2							
		スポーツ心理学	3	前	2		1				兼 1	専攻における重要度から選択必修へ 科目区分変更 (26)
		フーズサイエンス実験Ⅱ	3	前	3	1	1					
		食品検査概論	3	前	2	1						
		機能食品科学	3	前	2		1				兼 1	履修内容に即した科目名称に変更 (25)
		食品安全学	3	前	2		1					
		スポーツと医学	3	前	2							
		発達病態生理学	3	後	2						兼 1	専攻における重要度から選択必修へ 科目区分変更 (26)
		HACCP論	3	後	2		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	微分積分学	1 前		2							兼 1	
	地学Ⅰ	1 後		2		1						専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
	物理Ⅱ	1 後		2		1						専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
	物理実験	1 後		2		1	1					専攻における重要度から必修へ科目区分変更 (25)
	無機化学	1 後		2							兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
	有機化学Ⅰ 有機化学	1 後		2							兼 1	履修内容に即した科目名称に変更し、専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
	スポーツ救急法演習	1 後		2		1	1					専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
	地学Ⅱ	2 前		2		1						専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
	味とニオイの科学	2 前		2							兼 1	
	植物育種学	2 前		2							兼 1	誤記入による配当年次変更 (26)
	生物学実験	2 前		2		2						専攻における重要性を考慮し選択から必修へ科目区分変更 (26)
	機器分析	2 前		2			1					
	調理科学実習	2 前		2			1				兼 1	
	フードエンジニアリング	2 前		2		1						
	食品物性論	2 前		2		1						
	微生物利用学	2 前		2							兼 1	
	動物生理学	2 後		2							兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
	物理化学	2 後		2							兼 1	
	微生物生理学	2 後		2							兼 1	
	地学概論（実験を含む）	2 後		2							兼 1	
	地域産業論	2 後		2		1						※実験 専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
	分子生物学概論	2 後		2		1						専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
	調理と美味しさの科学	2 後		2			1				兼 1	
	遺伝子工学	3 前		2							兼 1	
	スパイスの科学	3 前		2							兼 1	
	マーケティング入門	3 前		2		1						
	生物有機化学	2 後		2							兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
	香粧品化学	3 前		2							兼 1	
	生命科学英語Ⅱ	3 前		2		4	2					
	ファイトセラピー論	3 前		2		1						
	プロバイオティクス	3 前		2		1						
	生物資源利用学	3 前		2		1						
	運動生理学実習	3 前		1		1		1				専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当：大上 安奈（講師）
	微生物生態学	3 前		2							兼 1	
	食品微生物利用学	3 前		2			1					
	ソムリエ講座	3 前		2							兼 1	
	感染症学	3 後		2							兼 1	
	予防・臨床栄養学	3 後		2		1						
	食品添加物概論	3 後		2		1						
	応用酵素学	3 後		2		1						
	生体高分子化学	3 後		2		1						
	知的財産所有権法	3 後		2							兼 1	
	環境分析化学	3 後		2							兼 1	
	植物生理学	2 前		2							兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
	タンパク質工学	3 後		2							兼 1	
	卒業研究	4 前		2		9	4					
	卒業論文	4 後		2		9	4					

- (注) ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況					備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計		
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
22	160	0	182	24 23 [2] +	158 159 [△2] △+	0	182		科目区分を変更したため (26)

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I（前年度秋学期開講）より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もないため未開講。代替なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.00
---	---	------

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

＜食環境科学部 健康栄養学科＞

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	哲学・思想	井上円了と東洋大学生命論	1・2・3・4 前後		2							兼 1 兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (25) 教育効果を高めるため専任教員を配置 (26) 担当：西牟田 守 (教授)	
		生命倫理	1・2・3・4 前後		2		1					兼 1		
		生命哲学	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		哲学入門	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		スポーツ哲学	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		自然・環境・生命	現代生物学	1・2・3・4 後		2							兼 1	
			現代化学	1・2・3・4 前		2							兼 1	
			現代物理	1・2・3・4 前		2							兼 1	
			科学技術論	1・2・3・4 後		2							兼 1	
			情報処理基礎	1・2・3・4 前		2							兼 1	
	情報処理演習		1・2・3・4 後		2							兼 1		
	生命科学史		1・2・3・4 後		2							兼 1		
	ライフサイエンス基礎Ⅰ		1 前		1							兼 1		
	ライフサイエンス基礎Ⅱ		1 後		1							兼 1		
	文化・世界の歴史	異文化コミュニケーション	1・2・3・4 前		2			+				兼 1	担当教員の開講数調整のため担当者変更 (25) 担当教員の業績追加による身分昇格 (25)	
		文化人類学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		欧米の文学と文化	1・2・3・4 前		2		1	+						
	現代・社会	経済学入門	1・2・3・4 前・後		2							兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更 (25) 兼任講師委嘱辞退により休講 (26)	
		人文地理学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		政治学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		日本国憲法	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		社会学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		法学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		心理学	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		異文化と社会事情	休講 1・2・3・4 前		2							兼 1		
		ソーシャルサーベイ概論	休講 1・2・3・4 前		2							兼 1		
	スポーツと健康	産官学連携概論	1・2・3・4 後		2							兼 1	時間割再編成に伴う担当者追加 (26) 履修者増の対応のため、学期を前・後学期に変更 (25) 兼任講師委嘱辞退により休講 (26) 兼任講師委嘱辞退により休講 (26) 集中 朝霞キャンパスとの合同開講 (26) 集中 開講形態の変更 (25)	
		スポーツ社会学	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		スポーツと健康Ⅱ	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		スポーツの理論と実際ⅠA (テニス)	1・2・3・4 前・後		1							兼 1		
		スポーツの理論と実際ⅠB (バレーボール)	1・2・3・4 後		1							兼 1		
		スポーツの理論と実際ⅡA (サッカー)	休講 1・2・3・4 前		1							兼 1		
		スポーツの理論と実際ⅡB (バスケットボール)	1・2・3・4 後		1							兼 1		
		スポーツの理論と実際Ⅲ (陸上)	休講 1・2・3・4 前		1							兼 1		
スポーツの理論と実際Ⅳ (水泳)		1・2・3・4 後		1							兼 1			
総合	スポーツの理論と実際Ⅴ (武道)	1・2・3・4 前		1							兼 1	集中 開講形態の変更 (25)		
	スポーツの理論と実際Ⅵ (器械運動)	1・2・3・4 後		1							兼 1			
	レポート記述法	1・2・3・4 後		2							兼 1			
総合	総合Ⅰ	1・2・3・4 前		2							兼 2	集中 開講形態の変更 (25)		
	総合Ⅱ	1・2・3・4 後		2							兼 1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基 盤 教 育 科 目	共 通 教 養 科 目	英語 I	1	前	1		1	+			兼 1 担当教員の業績追加による身分昇格 (25)
		英語 II	1	後	1		1	+			兼 1 担当教員の業績追加による身分昇格 (25)
		英語コミュニケーション I	1	前	1						兼 2 開講コース増に伴う担当者追加 (26)
		英語コミュニケーション II	1	後	1						兼 2 開講コース増に伴う担当者追加 (26)
		TOEIC演習	2	前・後	1						兼 1 開講コース増に伴う担当者追加 (26)
		英語スピーチ&プレゼンテーション	2	前・後	1						兼 2 開講コース増に伴う担当者追加 (26)
		イングリッシュ・プラクティス	2	前・後	1						兼 1 開講コース増に伴う担当者追加 (26)
		英語上級 I	2	前	1						兼 2 開講コース増に伴う担当者追加 (26)
		英語上級 II	2	後	1						兼 1
		中国語 I	1・2・3・4	前	1						兼 1
		中国語 II	1・2・3・4	後	1						兼 1
		ハングル I	1・2・3・4	前	1						兼 1
		ハングル II	1・2・3・4	後	1						兼 1
		フランス語 I	1・2・3・4	前	1						兼 1
		フランス語 II	1・2・3・4	後	1						兼 1
		スペイン語 I	1・2・3・4	前	1						兼 1
		スペイン語 II	1・2・3・4	後	1						兼 1
		Extensive Reading in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前・後	1		1				前学期聴講者なしにより未開講 (25) 聴講者なしのため未開講 (26)
		Field Trips in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前・後	1		1				前学期聴講者なしにより未開講 (25) 聴講者なしのため未開講 (26)
	社 会 人 基 礎 科 目	キャリアデザイン I	1	前		2	1				兼 1 学科主任担当科目のため担当者変更 (25)
		キャリアデザイン II	2	前		2	+				兼 1 学部共通科目のため担当者変更 (26) 担当: 吉崎 貴大 (助教)
	英 語 特 別 教 育 科 目	Special Course in Advanced TOEFL I	1・2・3・4	後		2					兼 1
		Special Course in Advanced TOEFL II	1・2・3・4 未開講 1・2・3・4	前		2					兼 1 学習段階を考慮し、H25年度は未開講 (25) 年次進行により開講 (26)
	日 本 語 科 目	Integrated Japanese I	未開講 1・2・3・4	前		5					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Integrated Japanese II	未開講 1・2・3・4	後		5					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Japanese Reading and Composition I	未開講 1・2・3・4	前		2					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Japanese Reading and Composition II	未開講 1・2・3・4	後		2					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Kanji Literacy I	未開講 1・2・3・4	前		1					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Kanji Literacy II	未開講 1・2・3・4	後		1					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Project Work I	未開講 1・2・3・4	前		1					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Project Work II	未開講 1・2・3・4	後		1					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Japanese Listening Comprehension I	未開講 1・2・3・4	前		1					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Japanese Listening Comprehension II	未開講 1・2・3・4	後		1					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Japanese Culture I	未開講 1・2・3・4	前		1					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)
		Japanese Culture II	未開講 1・2・3・4	後		1					兼 1 聴講対象者なしのため未開講 (25) (26)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目	必 修	調理学実習Ⅰ	1	前	1	1	1			1	兼 1 教育効果を高めるため専任教員を追加配置 (26) 担当：辻 ひろみ (教授)
		基礎化学Ⅰ	1	前	2		1				兼 + 専任教員の就任辞退による担当者変更 (25) 専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		食品分析学	1	前	2	1					
		生化学	1	前	2	+	1				
		解剖生理学	1	前	2	+	1				
		基礎栄養学Ⅰ	1	前	2	1					専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		社会・環境と健康Ⅰ	1	後	2	+	1				
		食品学Ⅰ	1	後	2	1					専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		食品学実験Ⅰ	2	前	1	1					
		公衆栄養学Ⅰ	2	前	2	1	+				より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：佐藤 加代子 (教授)
		給食経営管理論Ⅰ	2	後	2	1					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：佐藤 加代子 (教授)
		臨床栄養学Ⅰ	3	前	2	1					
		臨床栄養学実習Ⅰ	3	前	1	1					
		栄養マネジメントの実践	3	後	2		1				
		公衆栄養学実習	3	後	1	1	+				より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		栄養教育論Ⅰ	3	前	2		1				
		臨床栄養学実習Ⅱ	4	前・後	1	1					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		総合演習	4	前・後	2	3 2	+				
専 門 科 目	選 択 必 修	基礎化学Ⅱ	1	後	2		1				専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		微生物学	1	後	2		1				
		臨床検査学	1	後	2	+	1				
		基礎栄養学実験	1	後	1	1					
		解剖生理学実験	2	前	1	+	1				専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当：宮越 雄一 (准教授)
		微生物学実験	2	前	1		1				専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当：宮越 雄一 (准教授)
		生化学実験Ⅰ	2	前	1	+	1		1	兼 1	
		食品学Ⅱ	2	前	2	1					学生教育効果を考慮し、専任教員を配置 (26) 担当：藤澤 誠 (准教授)
		食品衛生学	2	前	2		1			兼 +	
		応用栄養学Ⅰ	2	前	2	1	+				より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		分子生物学概論	2	前	2					兼 1	専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当：宮越 雄一 (准教授)
		社会・環境と健康Ⅱ	2	後	2		1			兼 1	
		食品学実験Ⅱ	2	後	1	1					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		生化学実験Ⅱ	2	後	1	+	1		1	兼 1	
		調理科学実験	2	後	1		1		1	兼 1	より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		応用栄養学Ⅱ	2	後	2	1	+				
		応用栄養学実習Ⅰ	2	後	1	1	+		1	兼 1	
		食品バイオテクノロジー	2	後	2					兼 1	
		食品機能学	3	前	2	1					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		栄養教育論Ⅱ	3	前	2		1				
		給食経営管理実習	3	前	1	1					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		応用栄養学実習Ⅱ	3	前	1	1	+		1	兼 1	
		給食経営管理論Ⅱ	3	前	2	1					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		食品検査概論	3	前	2					兼 1	
		社会・環境と健康Ⅲ	3	後	2	1					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		食品衛生学実験	3	後	1		1			兼 1	
		食品加工学実習	3	後	1		1		1	兼 1	より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		スポーツ栄養学	3	後	2	1	+			兼 1	
		臨床栄養学Ⅱ	3	後	2	1					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：佐藤 加代子 (教授)
		臨床栄養学Ⅲ	3	後	2	1					
		公衆栄養学Ⅱ	3	後	2	1	+				より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：佐藤 加代子 (教授)
		生体高分子化学	3	後	2					兼 1	
		臨地実習Ⅰ (給食の運営)	3	後	1	1					
		栄養教育論実習	4	前	1		1				
		臨床栄養学Ⅳ	4	前	2	1				兼 1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	選択必修	臨地実習Ⅱ（給食経営管理論	4	前	1	1	+			1	より科目に適合した専任教員を採用（26） 担当：西牟田 守（教授） より科目に適合した専任教員を採用（26） 担当：佐藤 加代子（教授）	
	臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	4	前	1	3 2	+						
	臨地実習Ⅳ（公衆栄養学）	4	前	1	3 2	+						
	選	食品機能性分析学	1	前	2						兼 1	教育効果を高めるため専任教員を追加配置（25） 担当：飯島久美子（准教授）
		運動学	1	前	2						兼 1	
		スポーツと生理学	1	前	2						兼 1	
		エコシステム学	1	前	2						兼 1	
		分子栄養学	1	後	2	1						
		調理科学	1	後	2		1					
		基礎栄養学Ⅱ	1	後	2	1						
		調理学実習Ⅱ	1	後	1	1	1			1	兼 1	
		フードコーディネート論	1	後	2						兼 1	
		ゲノム科学	2	前	2						兼 1	
		食品流通経済論	2	前	2						兼 1	
		タンパク質科学	2	前	2						兼 1	
		フードエンジニアリング	2	前	2						兼 1	
		運動生理学Ⅰ	2	前	2						兼 1	
		運動生理学Ⅱ	2	後	2						兼 1	
		動物生理学	2	後	2						兼 1	
		生物有機化学	2	後	2						兼 1	
		分子遺伝学	2	後	2						兼 1	
		調理学実習Ⅲ	2	後	1		1			1	兼 1	
		遺伝子工学	3	前	2						兼 1	
		学校栄養教育の基礎	3	前	2		1					
		基礎医学	3	前	2	1						
		微生物生態学	3	前	2						兼 1	
		スポーツ心理学	3	前	2						兼 1	
		食品官能評価概論	3	前	2						兼 1	
		食品安全学	3	前	2						兼 1	
		学校栄養教育の実践	3	後	2		1					
		臨床医学	3	後	2	1						
		実践栄養教育論	3	後	2		1					
		実践給食経営管理論	3	後	2		1					
		択	実践社会・環境と健康	3	後	2	+	1				
	スポーツ医学		4	前	2	1						より科目に適合した専任教員を採用（26） 担当：西牟田 守（教授）
	実践公衆栄養学		4	前	2	1						
	健康栄養学科総合演習Ⅰ		4	前	1	3						
	実践人体の構造・および疾病の成り立ち		4	前	2	1						
	実践食べ物と健康		4	前	2	1					兼 1	
	実践基礎栄養学		4	前	2	1						
	健康栄養学科輪講Ⅰ		4	前	2	6	5					
	卒業研究		4	前	2	6	5					
	健康栄養学科輪講Ⅱ		4	後	2	6	5					
	卒業論文		4	後	2	6	5					
	健康栄養学科総合演習Ⅱ		4	後	1	2	1					
	実践応用栄養学		4	後	2	1	+					
	実践臨床栄養学		4	後	2	1						

- （注）・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（2）授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 22	科目 158	科目 0	科目 180	科目 22	科目 158	科目 0	科目 180	
				[]	[]	[]	[]	

- （注）・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I（前年度秋学期開講）より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もないため未開講。代替なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.00
---	---	------

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校地の用途変更 (25) 白山第2校舎の利用停 止に伴う減 (25)			
	校 舎 敷 地	325,227.58 290,970.80㎡ 290,971.80㎡	0㎡	0㎡	325,227.58 290,970.80㎡ 290,971.80㎡				
	運動場用地	189,576.05 471,911.81㎡ 474,091.74㎡	0㎡	0㎡	189,576.05 471,911.81㎡ 474,091.74㎡				
	小 計	514,803.63 762,882.61㎡	0㎡	0㎡	514,803.63 762,882.61㎡				
	そ の 他	301,164.15 0㎡	0㎡	0㎡	301,164.15 0㎡				
	合 計	815,967.78 762,882.61㎡ 765,063.54㎡	0㎡	0㎡	815,967.78 762,882.61㎡ 765,063.54㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 白山第2校舎利用停 止に伴う面積変更 (25) 朝霞一部売却のため 減少 (26)				
	204,319.50 233,150.22㎡ 234,827.43㎡ (233,150.22㎡) (234,827.43㎡)	0㎡	0㎡	204,319.50 233,150.22㎡ 234,827.43㎡ (233,150.22㎡) (234,827.43㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体の数値として 算出していたため、AC 対象学部の数値に訂正 (25) 生命科学部と共用 見直し修正 (26)			
	24室 267室	23室 24室 86室	81室 80室 477室	2室 30室 1 (補助職員50人)	1室 2室 7室 (補助職員0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	食環境科学部 食環境科学科			17 室					
	食環境科学部 健康栄養学科			14 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	生命科学部と共用 見直しによる修正 (25) (26) 学術雑誌について平成 25年度履行状況調査時 に記載漏れ (26) 機械・器具の新規購入 による増 (26)	
	食環境科学部 食環境科学科 健康栄養学科	70,705 [8,977] 70,699 [8,863] (66,912 [9,376]) (64,696 [9,143]) (60,747 [8,977])	197 [111] 197 [111]	25,278 [24,642] 25,278 [24,642]	2,620 2,572	508 465 449 508 465 (449)	0 0		
	計	70,705 [8,977] 70,699 [8,863] (66,912 [9,376]) (64,696 [9,143]) (60,747 [8,977])	197 [111] 197 [111]	25,278 [24,642] 25,278 [24,642]	2,620 2,572	508 465 449 508 465 (449)	0 0		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体の数値として 算出していたため、AC 対象学部の数値に訂正 (25) 障がい者支援として閱 覧座席数を追加 (26)			
	2,010㎡ 17,154.34㎡	251席 250席 2,601席		78,150冊 1,807,150冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	20,037.65㎡ 24,950.01㎡	野 球 場 、 サ ッ カ ー 場 テ ニ ス コ ー ト 等							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	計画修正に伴う変更 (25)
		教員1人当り研究費等	千円 教 授 : 694 准教授 : 642 講 師 : 589	千円 教 授 : 694 准教授 : 642 講 師 : 589	図書購入費	4,727千円	1,774千円 2,692千円	9,701千円	
		共同研究費等	55,000千円	55,000千円	設備購入費	9,603千円 2,718千円	4,700千円 4,255千円	13,460千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,550千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入等ならびに国庫からの補助金収入によって維持を図る。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		東洋大学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
大学院修士・博士前期課程 文学研究科								東京都文京区 白山5丁目28番20号	平成26年4月から国文学専 攻より名称変更	
哲学専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	1.20	昭和27 年度			
インド哲学仏教学専攻	2	4	—	8	修士 (文学)	1.00	昭和27 年度			
日本文学文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	0.40	昭和27 年度			
中国哲学専攻	2	4	—	8	修士 (文学)	0.37	昭和29 年度			
英文学専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.30	昭和31 年度			
史学専攻	2	6	—	12	修士 (文学)	0.99	昭和42 年度			
教育学専攻	2	20	—	40	修士 (文学)	0.25	平成6 年度			
英語コミュニケーション専攻	2	10	—	20	修士 (英語コミュ ニケーション)	0.25	平成16 年度			
社会学研究科										
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社 会学)	0.60	昭和34 年度			
社会福祉学専攻	2	—	—	—	修士 (社会福 祉学)	—	昭和41 年度	平成18年度より学生 募集停止		
福祉社会システム専攻	2	—	—	—	修士(社 会学)	—	平成8 年度	平成18年度より学生 募集停止		
社会心理学専攻	2	12	—	24	修士 (社会心 理学)	0.28	平成16 年度			
法学研究科										
私法学専攻	2	10	—	20	修士 (法学)	0.50	昭和39 年度			
公法学専攻	2	10	—	20	修士 (法学)	1.00	昭和51 年度			
経営学研究科										
経営学専攻	2	10	—	20	修士 (経営学)	0.75	昭和47 年度			
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	2	20	—	40	修士 (経営学)	0.82	平成18 年度			
マーケティング専攻	2	10	—	20	修士 (マーケティ ング)	0.90	平成22 年度			
理工学研究科										
生体医工学専攻	2	18	—	18	修士 (理工学)	1.16	平成26 年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地		
応用化学専攻	2	12	—	12	修士 (理工学)	0.83	平成26 年度			
機能システム専攻	2	15	—	15	修士 (理工学)	0.60	平成26 年度			
電気電子情報専攻	2	11	—	11	修士 (理工学)	0.90	平成26 年度			
都市環境デザイン専攻	2	8	—	8	修士 (工学)	0.50	平成26 年度			
建築学専攻	2	14	—	14	修士 (工学)	0.71	平成26 年度			

大 学 の 名 称	東洋大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
工学研究科									
機能システム専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成26年度より学生 募集停止
バイオ・応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生 募集停止
環境・デザイン専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生 募集停止
情報システム専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生 募集停止
経済学研究科									
経済学専攻	2	10	—	20	修士 (経済学)	0.40	昭和51 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
公民連携専攻	2	30	—	60	修士 (経済学)	0.46	平成18 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号 東京都千代田区 大手町2丁目2番1号	
国際地域学研究科									
国際地域学専攻	2	15	—	30	修士 (国際地 域学)	0.59	平成13 年度	群馬県邑楽郡板 倉町泉野1丁目1 番1号	
国際観光学専攻	2	10	—	20	修士 (国際観 光学)	0.80	平成17 年度		
生命科学研究科									
生命科学専攻	2	20	—	40	修士 (生命科 学)	1.25	平成13 年度		
福祉社会デザイン研究科									
社会福祉学専攻	2	20	—	40	修士(社 会福祉 学)又は 修士(ソ ーシャル ワーク)	0.47	平成18 年度	東京都文京区白 山5丁目28番20号	
福祉社会システム専攻	2	20	—	40	修士(社 会学)又 は修士 (社会福 祉学)	0.25	平成18 年度	埼玉県朝霞市岡 48番1号	
ヒューマンデザイン専攻	2	20	—	40	修士(社 会福祉 学)又は 修士(健 康デザイ ン学)	0.30	平成18 年度		
人間環境デザイン専攻	2	10	—	20	修士(人 間環境デ ザイン学)	0.50	平成21 年度		
学際・融合科学研究科									
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	2	12	—	24	修士(バ イオ・ナ ノサイエ ンス融合)	1.66	平成23 年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地	
大学院博士後期課程 文学研究科									
哲学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.88	昭和43 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成26年4月から国文学専 攻より名称変更
インド哲学仏教学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.55	昭和29 年度		
日本文学文化専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	1.33	昭和29 年度		
中国哲学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.00	平成11 年度		
英文学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.22	昭和39 年度		
史学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.33	平成11 年度		
教育学専攻	3	4	—	12	博士 (文学)	0.33	平成11 年度		
英語コミュニケーション専攻	3	5	—	15	博士 (英語コ ミュニ ケーション)	0.06	平成19 年度		

大 学 の 名 称	東洋大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
社会学研究科									
社会学専攻	3	3	—	9	博士 (社会学)	1.10	昭和34 年度		
社会心理学専攻	3	5	—	15	博士 (社会心 理学)	0.13	平成18 年度		
社会福祉学専攻	3	—	—	—	博士 (社会福 祉学)	—	昭和53 年度		平成18年4月より学 生募集停止
法学研究科									
私法学専攻	3	5	—	15	博士 (法学)	0.06	昭和41 年度		
公法学専攻	3	5	—	15	博士 (法学)	0.13	平成12 年度		
経営学研究科									
経営学専攻	3	5	—	15	博士(経 営学)	0.00	平成11 年度		
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	3	5	—	15	博士(経 営学)ま たは博士 (会計・ ファイナ ンス)	0.20	平成22 年度		
マーケティング専攻	3	3	—	9	博士 (マーケッ ティング)	0.11	平成24 年度		
理工学研究科									
生体医工学専攻	3	3	—	3	博士 (理工学)	0.33	平成26 年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地	
応用化学専攻	3	3	—	3	博士 (理工学)	0.00	平成26 年度		
機能システム専攻	3	3	—	3	博士 (理工学)	0.00	平成26 年度		
電気電子情報専攻	3	3	—	3	博士 (理工学)	0.33	平成26 年度		
建築・都市デザイン専攻	3	3	—	3	博士 (工学)	0.33	平成26 年度		
工学研究科									
機能システム専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生 募集停止
バイオ・応用化学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生 募集停止
環境・デザイン専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生 募集停止
情報システム専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生 募集停止
経済学研究科									
経済学専攻	3	3	—	9	博士 (経済学)	0.55	昭和53 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学研究科									
国際地域学専攻	3	5	—	15	博士 (国際地 域学)	0.46	平成15 年度		
国際観光学専攻	3	3	—	9	博士 (国際観 光学)	0.55	平成23 年度		
生命科学研究科									
生命科学専攻	3	4	—	12	博士 (生命科 学)	0.33	平成15 年度	群馬県邑楽郡板 倉町泉野1丁目1 番1号	

大 学 の 名 称	東洋大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
福祉社会デザイン研究科									
社会福祉学専攻	3	5	—	15	博士(社会福祉学)又は博士(ソーシャルワーク)	0.93	平成18年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
ヒューマンデザイン専攻	3	5	—	15	博士(社会福祉学)又は博士(健康デザイン学)	0.60	平成18年度	埼玉県朝霞市岡48番1号	
人間環境デザイン専攻	3	4	—	12	博士(人間環境デザイン学)	0.08	平成21年度		
学際・融合科学研究科									
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	3	4	—	12	博士(バイオ・ナノサイエンス融合)	0.83	平成19年度	埼玉県川越市大字鯨井字中野台2100番地	
専門職大学院									
法務研究科 法務専攻(法科大学院)	3	20	—	100	法務博士(専門職)	0.28	平成16年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	平成26年度より入学定員変更(40→20)
文学部 第1部						1.18		東京都文京区	
哲学科	4	100	—	300	学士(文学)	1.19	昭和24年度	白山5丁目28番20号	平成25年度より入学定員変更(50→100)
東洋思想文化学科	4	100	—	200	学士(文学)	1.19	平成25年度		
インド哲学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和24年度		平成25年度より学生募集停止
中国哲学文学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和24年度		平成25年度より学生募集停止
日本文学文化学科	4	190	—	760	学士(文学)	1.20	平成12年度		
英米文学科	4	120	—	480	学士(文学)	1.17	昭和24年度		
英語コミュニケーション学科	4	100	—	400	学士(文学)	1.18	平成12年度		
史学科	4	110	—	440	学士(文学)	1.19	昭和24年度		
教育学科						1.11	昭和39年度		
人間発達専攻	4	60	—	240	学士(教育学)	1.23	平成20年度		
初等教育専攻	4	50	—	200	学士(教育学)	0.98	平成20年度		
経済学部 第1部						1.19			
経済学科	4	230	—	920	学士(経済学)	1.22	昭和25年度		
国際経済学科	4	175	—	700	学士(経済学)	1.18	平成12年度		
総合政策学科	4	170	—	680	学士(経済学)	1.17	平成12年度		
経営学部 第1部						1.19			
経営学科	4	310	—	1240	学士(経営学)	1.19	昭和41年度		
マーケティング学科	4	150	—	600	学士(経営学)	1.20	昭和41年度		
会計ファイナンス学科	4	210	—	840	学士(経営学)	1.18	平成18年度		
法学部 第1部						1.18			
法律学科	4	250	—	1000	学士(法学)	1.18	昭和31年度		
企業法学科	4	250	—	1000	学士(法学)	1.19	昭和40年度		

大 学 の 名 称	東洋大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
社会学部 第1部						1.17				
社会学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.13	昭和34 年度			
社会文化システム学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.18	平成12 年度			
メディアコミュニケーション学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.17	平成12 年度			
社会心理学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.18	平成12 年度			
社会福祉学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.17	平成4 年度			
理工学部						1.15		埼玉県川越市 鯨井2100		
機械工学科	4	150	—	600	学士 (理工学)	1.17	昭和36 年度			
生体医工学科	4	100	—	400	学士 (理工学)	1.17	平成21 年度			
電気電子情報工学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.12	昭和36 年度			
応用化学科	4	120	—	480	学士 (理工学)	1.11	昭和36 年度			
都市環境デザイン学科	4	80	—	360	学士 (工学)	1.15	昭和37 年度			平成25年度より入学定員変更 (80→100)
建築学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.19	昭和37 年度			
工学部										
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和51 年度			平成21年度より学生募集停止
コンピュータショナル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成13 年度			平成21年度より学生募集停止
機能メカニクス学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17 年度			平成21年度より学生募集停止
国際地域学部						1.15		東京都文京区 白山5丁目28番20号		
国際地域学科						1.12	平成9 年度			
国際地域専攻	4	180	—	540	学士 (国際地域学)	1.19	平成22 年度			
地域総合専攻	4	110	—	330	学士 (国際地域学)	1.01	平成22 年度			
国際観光学科	4	200	—	800	学士 (国際地域学)	1.19	平成13 年度			
生命科学部						1.16		群馬県邑楽郡板倉町 泉野1丁目1番1号		
生命科学科	4	100	—	400	学士 (生命科学)	1.18	平成9 年度			
応用生物科学科	4	100	—	400	学士 (生命科学)	1.16	平成21 年度			
食環境科学科	4	—	—	—	学士 (生命科学)	—	平成21 年度			平成25年度より学生募集停止
ライフデザイン学部						1.14		埼玉県朝霞市 岡48-1		
生活支援学科						1.08	平成17 年度			
生活支援学専攻	4	100	—	400	学士 (生活支援学)	1.18	平成21 年度			
子ども支援学専攻	4	100	—	400	学士 (生活支援学)	0.99	平成21 年度			
健康スポーツ学科	4	150	—	600	学士 (健康スポーツ学)	1.19	平成17 年度			
人間環境デザイン学科	4	150	—	600	学士 (人間環境デザイン学)	1.18	平成18 年度			

大 学 の 名 称		東洋大学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
総合情報学部						1.10		埼玉県川越市 鯨井2100		
総合情報学科	4	260	—	1040	学士 (情報学)	1.10	平成21 年度			
食環境科学部						1.09		群馬県邑楽郡板倉町		
食環境科学科						1.17	平成25 年度	泉野1丁目1番1 号		
フードサイエンス専攻	4	70	—	140	学士 (食環境科 学)	1.18	平成25 年度			
スポーツ・食品機能専攻	4	50	—	100	学士 (食環境科 学)	1.17	平成25 年度			
健康栄養学科	4	100	—	200	学士 (健康栄養 学)	1.00	平成25 年度			
文学部 第2部						1.02		東京都文京区		
東洋思想文化学科	4	30		60	学士 (文学)	1.03	平成25 年度	白山5丁目28番20号		
インド哲学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和31 年度		平成25年度より学生 募集停止	
日本文学文化学科	4	80	—	320	学士 (文学)	1.02	昭和27 年度			
教育学科	4	40	—	160	学士 (教育学)	1.03	昭和39 年度			
経済学部 第2部						1.07				
経済学科	4	150	—	600	学士 (経済学)	1.07	昭和32 年度			
経営学部 第2部						1.00				
経営学科	4	110	—	440	学士 (経営学)	1.00	昭和41 年度			
法学部 第2部						1.03				
法律学科	4	120	—	480	学士 (法学)	1.03	昭和31 年度			
社会学部 第2部						0.94				
社会学科	4	130	—	520	学士 (社会学)	1.00	昭和34 年度			
社会福祉学科	4	45	3年次 10	200	学士 (社会学)	0.78	平成13 年度			
通信教育部 文学部										
日本文学文化学科	4	1000	—	4000	学士 (文学)	0.04	昭和39 年度			
法学部										
法律学科	4	1000	—	4000	学士 (法学)	0.01	昭和41 年度			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時	届出設置のため該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (26年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<食環境科学部 食環境科学科・健康栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 食環境科学科および健康栄養学科 124単位 基礎教育科目のうち共通教養科目における 自然・環境・生命分野 修了要件単位数指定なし 食環境科学科フードサイエンス専攻 124単位 必修科目37単位、選択科目26単位 食環境科学科スポーツ・食品機能専攻 124単位 必修科目36単位、選択科目26単位 ②取得可能な資格の一覧表 食環境科学科フードサイエンス専攻 中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科） 食環境科学科スポーツ・食品機能専攻 中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 健康栄養学科 管理栄養士（受験資格） 栄養士 栄養教諭一種免許状 両学科 食品衛生管理者 食品衛生監視員 フーズスペシャリスト ④情報の提供 食環境科学部は何をどのように学ぶ学部かということを 広く世に周知する。	学生生命科学に関する教養を涵養するため、修了要件 単位数を設けた。 自然・環境・生命分野 4単位 文部科学省教職課程認定委員会の指導により、必修科目 、選択科目の修了要件単位数を変更した。 (別添①「新旧対象表」参照) 必修科目55単位、選択科目20単位 文部科学省教職課程認定委員会の指導により、必修科目 、選択科目の修了要件単位数を変更した。 (別添①「新旧対象表」参照) 必修科目46単位、選択科目22単位 「中学校教諭一種免許状（理科）」、「高等学校教諭 一種免許状（理科）」の修得が可能となった。 文部科学省教職課程認定委員会の指導により、免許状 教科の変更をした。 「中学校教諭一種免許状（理科）」、「高等学校教諭 一種免許状（理科）」の修得が可能となった。 「管理栄養士（受験資格）」、「栄養士」とともに取得 が可能となった。 「栄養教諭一種免許状」の修得が可能となった。 すべての学科で「食品衛生管理者」、「食品衛生監視員」 の任用資格取得が可能となった。 3年次におけるフーズスペシャリスト試験受験が可能 となるよう、現在申請中である。—(公益社団法人日本 フーズスペシャリスト協会と調整済み)— 公益社団法人日本フーズスペシャリスト協会から 認定を受けた。 平成25年6月に「東洋大学 食環境科学部シンポジウム」を 板倉キャンパスにて実施する予定である。本学部教員による 研究発表・講演や特別講演、全教員によるポスターセッ ションとサイエンスカフェ形式による座談などを通して、 企業、公的研究機関、近隣の方々、本学在校生、そして高 校生を対象に、本学部の紹介と情報の提供ならびにこれか らの目標などを発信する。あわせて東洋大学の歴史や沿 革、学祖の教育理念などをポスター展示し、東洋大学の目 指す教育研究についても発信する。 平成25年6月14日「食環境科学部 開設記念シンポジウム」 と題し実施した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外的事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD活動に関しては、平成19年4月より、東洋大学FD推進センター及びFD推進委員会を設置している。東洋大学FD推進センター長には副学長を充て、FD推進委員会はセンター長を委員長として、各学部・各研究科から1名の委員を選出して構成されている。同委員会内には、研修部会、大学院部会、教育改善対策部会、編集部会、授業評価手法検討部会の5部会を置き、積極的なFD活動を実施している。 また、平成26年3月より、従来より活動を行ってきた学生FDスタッフを、「学生FDチーム」としてFD推進センター直属の組織とすることにより、学生FD活動の位置付けを明確にした。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD推進委員会は、毎年、年6回程度開催しており、規程上、委員の3分の2以上の出席をもって委員会は成立する。また、委員会内の各部会についても、それぞれ年3回程度開催している。 c 委員会の審議事項等 ・委員会の年次活動計画について ・部会の設置と各委員の配属について ・各種FD企画の開催について ・授業評価アンケートについて 等 ② 実施状況 a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） 「ティーチング・アシスタントFD研修会」 ・講演及びワークショップ形式 ・平成25年4月27日開催 参加者約100名 「新任教員FD研修会」 ・講演およびワークショップ形式 ・平成25年7月6日開催 参加者約45名 「教育改善シンポジウム」 ・講演形式 ・平成25年9月28日開催 参加者約30名 「一般教員FD研修会」 ・講演形式 ・平成25年12月20日開催 参加者約60名 「学部FD活動状況報告会」 ・講演形式 ・平成25年12月21日開催 参加者約50名	d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 上記の全学的な取組の他、各学部・研究科独自のFD活動については、FD推進委員会の報告事項で報告する場を設けている。また、報告された各学部・研究科のFD活動について、各委員が学部・研究科にフィードバックすることにより、学部・研究科及び各教員の授業改善に役立てるシステムを構築している。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 以前は各学部で独自に実施していたが、トライアルを経て、平成25年度より全学共通のフォーマットによる授業評価アンケートを実施している。なお、平成26年度については、春学期は6月～7月、秋学期は12月～1月に実施期間を1ヶ月程度設けて行うこととしている。 b 教員や学生への公開状況、方法等 これまでは各学部において独自に公表を行ってきたが、平成26年度はアンケート結果の学部平均値等について、大学ホームページにて公表する予定である。
--	---

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 (別紙のとおり) ② 自己点検・評価報告書 a 公表（予定）時期 ・毎年度実施している各学科・専攻の自己点検・評価の結果は、平成26年5月に大学として一括で公表。 (平成24年度の結果は、平成25年5月に公表済み) ・平成26年度の認証評価の受審のための「点検・評価報告書」については、平成27年3月に公表予定。 b 公表方法 ・上記のいずれもホームページにて公表 http://www.toyo.ac.jp/site/university/ss.html ③ 認証評価を受ける計画 ・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、平成26年1月15日に受審の申請を行い、平成26年4月1日に評価資料を提出済み。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成26年5月31日)

(別紙) 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設から 1 年が経過した現在、食環境科学部の各学科の設置目的を達成すべく、次の取り組みを実施した。

教育・研究、特に人材育成に関しては、「設置の趣旨及び必要性」に掲げている教育目標「食、栄養、健康に関して、最新の生命科学、バイオテクノロジーをもとに深く学修して、食品機能科学や食と健康をつなぐ高度な専門的知識・技術を修得するとともに、高度な倫理観を身につけ、実社会で自ら判断し、自主的、主体的に問題解決していく能力、新しい分野を切り拓いていく能力などを身につけさせること」のうち、とりわけ「高度な倫理観を身につけること」を達成するため、「生命倫理」(春学期)「生命論」「生命哲学」(秋学期)を開講し、生命の尊さ、生と死、医療や新技術の技術革新に伴う個人的・社会的な諸問題、哲学の観点から考えさせる力の涵養に努めた。

また、これらで扱う「哲学」を通して、東洋大学の建学理念である「諸学の基礎は哲学にあり」に立脚した、基本的なものの見方・考え方の涵養にも寄与することは、「実社会で自ら判断し、自主的、主体的に問題解決していく能力、新しい分野を切り拓いていく能力などを身につける」ことに結びつくものである。

さらに、食環境科学部が新たに設置されたことから、開設前に約 1800 冊に及ぶ図書を新たに整備したが、一層の充実を図るとともに、電子ジャーナルも積極的に取り入れている。また、「学習支援室」を活用し、入学後の学力への不安・基礎力向上を希望する学生を対象に、助教をはじめとした専任教員による学習支援を行い、高等学校から大学の学習への円滑な移行に貢献している。とりわけ、健康栄養学科では、管理栄養士国家試験の受験資格が得られることから、合格率をあげるためには基礎・応用の段階的な学力の涵養が重要であり、授業支援システムを用いた効果的な学力定着の方策を検討した結果、アクティブ e ラーニングが有効であるとの結論にいたり、26 年度開始に向けて準備を進めた。

また、人材育成の大きな柱でもある、専任教員による大学生活と将来の進路を考えさせる科目「キャリアデザイン」や、食のグローバル化に対応出来るよう国際化に対しても積極的に推進している。

施設・設備等の整備計画においては、学部の設置に伴う学生実験室不足、教員増による研究室・実験室不足が生じないよう事前に対応したため、問題は生じていない。

情報の提供として、本食環境科学部と生命科学部との学問領域を広く周知するため、平成 25 年 6 月に板倉キャンパスにおいて、地域企業、公的研究機関、近隣住民、在校生、入学予定者、高等学校の学生を対象に、講演会を開催し、東洋大学の目指す教育研究について情報発信を行った。好評であったことから 26 年度も実施予定である。

これらの状況から、食環境科学部食環境科学科・健康栄養学科は設置の趣旨・目的の実現に向け着実に実行できていると判断している。今後とも設置の趣旨・目的の達成に向け、積極的に教育・研究活動を推進していく。